

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		5/26 （5/19との比較）	5/26 （5/19との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.45% （▲0.03）	82.80円 （+0.54%）	+2.0% 2016年4Q	0.50%	市場予想通り中銀は政策金利を据え置き。個人消費などの底堅さが言及される中、国債利回りは小幅低下。OPEC（石油輸出国機構）で減産合意がなされ、利益確定売りで原油価格が低下する中、カナダドルは対円で上昇。	GDP（国内総生産）や国際商品貿易などの発表を予定。米国を中心に各国政治経済動向が意識される中、引き続き国債利回りはレンジ内での推移を予想。カナダドルの売り圧力も今後限定的になる可能性も。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ブラジル 	BB	10.32% （▲0.69）	34.15円 （▲0.10%）	-2.5% 2016年4Q	11.25%	テメル大統領の汚職関与疑惑の行方をにらみながら、神経質な相場展開が継続。中銀が為替市場を下支えする中、レアルは対米ドル、対円ともに下落。追加利下げを見込み、国債利回りは低下。	通貨政策委員会を予定。市場では1.0%の政策金利の引き下げを見込む。引き続き汚職問題の行方に注目が集まる中、債券・為替市場は神経質な展開を想定。
	Ba2	 金利横ばい		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	7.25% （+0.11）	6.01円 （+1.19%）	+2.8% 2017年1Q	6.75%	発表された1-3月期のGDP（国内総生産）は速報値から上方修正。新興国市場が全般的に底堅く推移する中、ペソは対米ドル、対円ともに上昇。国債利回りは上昇。	6月にECB（欧州中央銀行）理事会やFOMC（米連邦公開市場委員会）を控え、国債利回りには上昇圧力のかかりやすい展開を想定。ペソはNAFTA（北米自由貿易協定）再交渉を8月に見据え、神経質な展開を予想。
	A3	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		5/26 （5/19との比較）	5/26 （5/19との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	<b>2.41%</b> （▲0.06）	<b>82.91円</b> （▲0.11%）	<b>+2.4%</b> 2016年4Q	<b>1.50%</b>	格付機関ムーディーズによる中国の格下げや、FOMC（米連邦公開市場委員会）議事要旨で6月の利上げの可能性が示されたことなどが、同国への不安材料に。国債利回りは低下。オーストラリアドルは対円で下落。	民間設備投資や小売売上高などの発表が予定され、今後の金融政策を見る材料に。欧米や中国の政治経済動向にもらみながら、債券・為替市場は一進一退の動きを想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	<b>2.80%</b> （▲0.03）	<b>78.60円</b> （+2.02%）	<b>+2.7%</b> 2016年4Q	<b>1.75%</b>	発表された政府予算案では、低所得者向けの実質的な所得減税などを盛り込みつつ、政府債務のGDP（国内総生産）比率を低下させる目標を堅持。国債利回りは小幅低下。ニュージーランドドルは対円で上昇。	金融安定報告書の公表を予定し、経済指標では企業景況感指数や住宅価格指数、交易条件指数などの発表を予定。乳製品価格の持ち直しを受けて交易条件に改善が見られるかが注目ポイント。
	Aaa	 金利横ばい		 景気回復	 利上げ局面		
ノルウェー 	AAA	<b>1.53%</b> （▲0.00）	<b>13.29円</b> （+0.08%）	<b>+2.6%</b> 2017年1Q	<b>0.50%</b>	石油関連の設備投資調査では、2017年の投資予定額が前回調査から上方修正されるなど、石油産業が最悪期を脱しつつあることを示す内容。ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りはほぼ横ばい。	ノルウェーの景気は最悪期を脱し上向いているものの、その勢いは依然緩慢。小売売上高や製造業PMI、失業率などの発表が予定され、景気拡大ペースが上向き兆しが見られるかが注目される。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
















※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

市場概要・見通し（南アフリカ、インドネシア、インド）

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		5/26 (5/19との比較)	5/26 (5/19との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
南アフリカ 	BBB-	7.55% (▲0.06)	8.67円 (+3.10%)	+0.7% 2016年4Q	7.00%	インフレ統計は鈍化。中銀は政策金利の据え置きを決定。一部メディアによる大統領罷免の観測報道を受けて、ランドは対米ドル、対円ともに上昇。国債利回りは低下。	貿易収支や製造業PMIなどの発表を予定。先週末に大統領の不信任決議取り消しが決定したとの報道がされたこともあり、政治的な不透明感の残存から債券・為替市場ともに上値の重い展開を予想。
	Baa2	 金利上昇	 景気鈍化		 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	6.71% (▲0.02)	0.84円 (+0.24%)	+5.0% 2017年1Q	4.75%	主要な経済指標の発表はなし。首都ジャカルタで自爆テロが発生するも、今月19日に格付機関S&Pによる格上げが引き続き好感され、ルピアは対米ドル、対円ともに上昇。国債利回りは小幅低下。	製造業PMIやインフレ統計などの発表を予定。インフレ上昇圧力が高まりつつあるも、中銀のインフレ目標範囲内で推移すると見込まれる。ルピアは底堅く推移し、国債利回りの上昇は限定的であると予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.82% (▲0.03)	1.72円 (▲0.06%)	+7.0% 2016年4Q	6.25%	隣国パキスタンとの関係に緊張感が高まったものの、海外直接投資に関する規制緩和が発表されるなど、国内改革の進展を受けて、ルピーは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	1-3月期のGDP（国内総生産）などの発表を予定。7%台の高成長を維持できるかが注目点。国内改革の進展が好感されやすいが、地政学的リスクも意識され、債券・為替市場ともに横ばいの推移を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

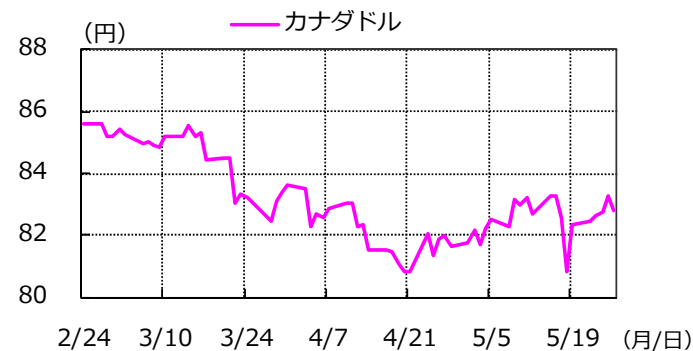
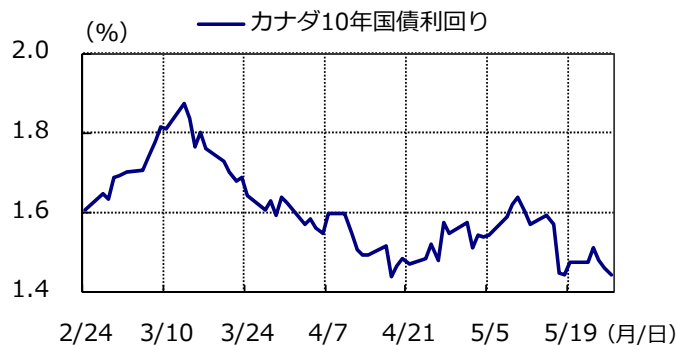
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

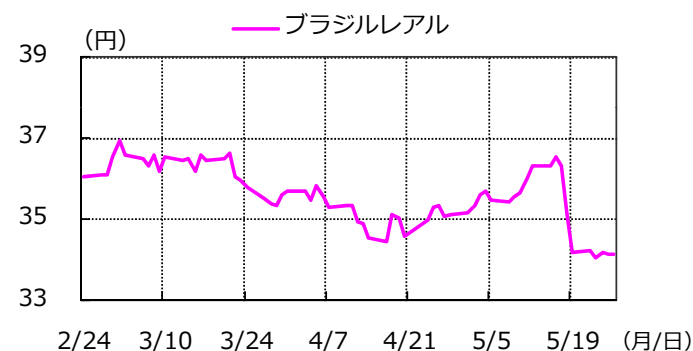
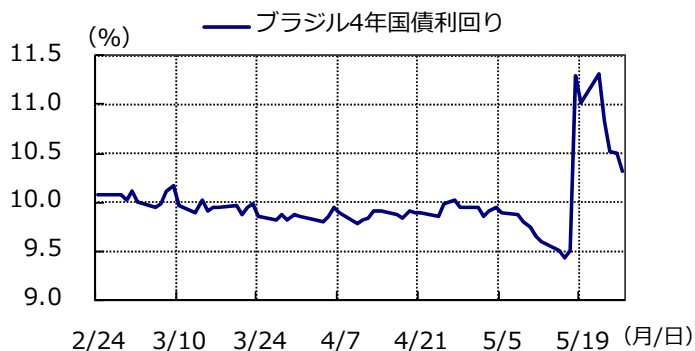
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/2/24～2017/5/26

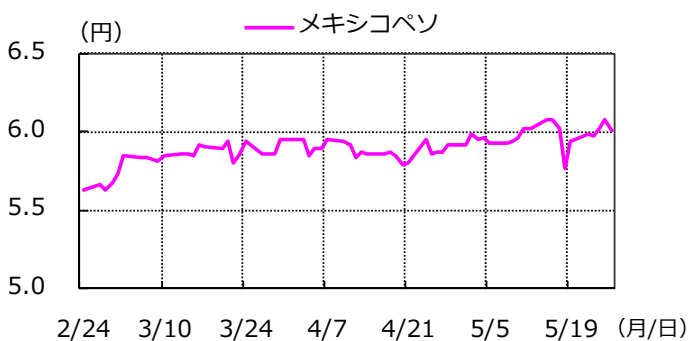
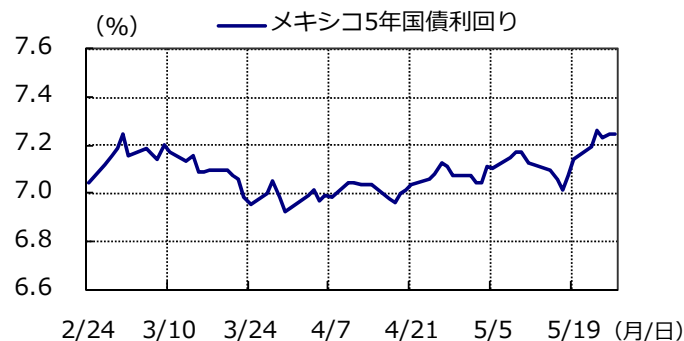
カナダ



ブラジル



メキシコ

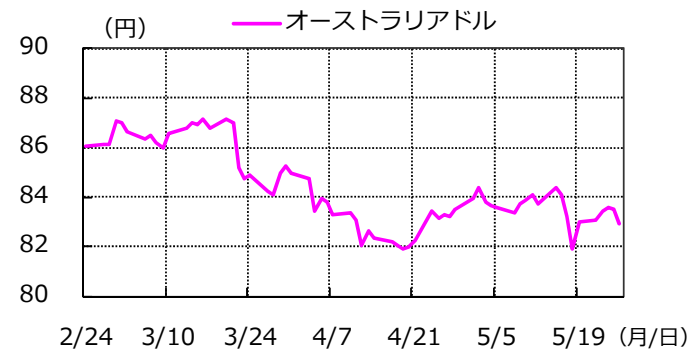
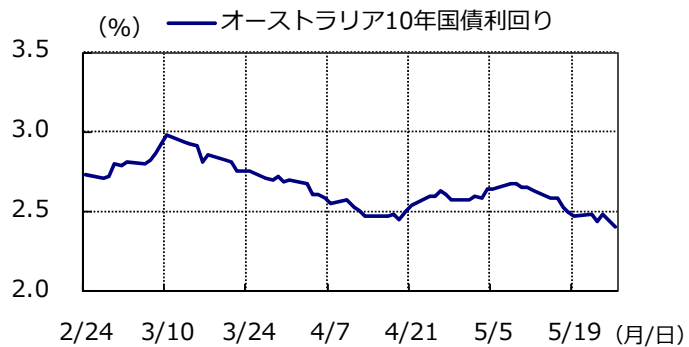


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

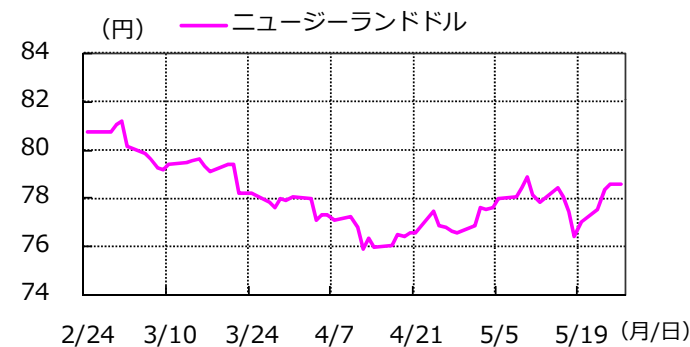
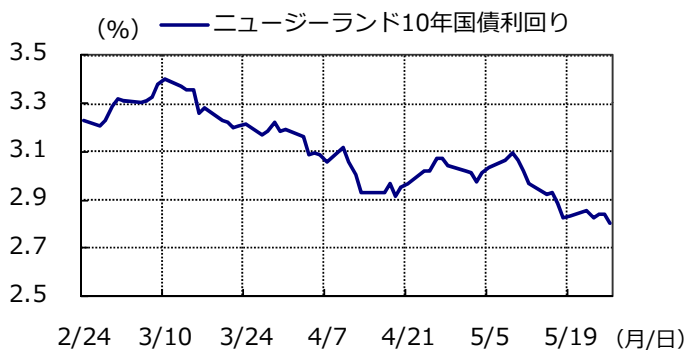
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/2/24～2017/5/26

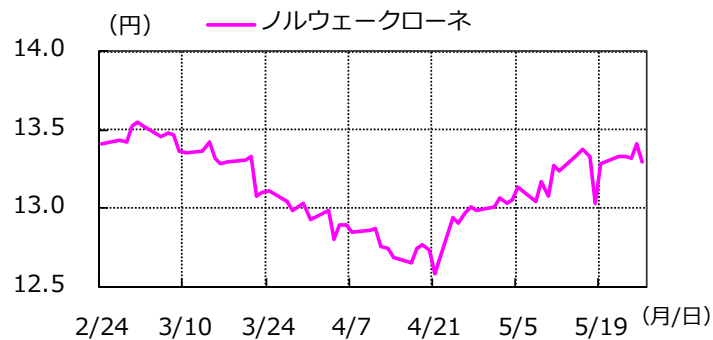
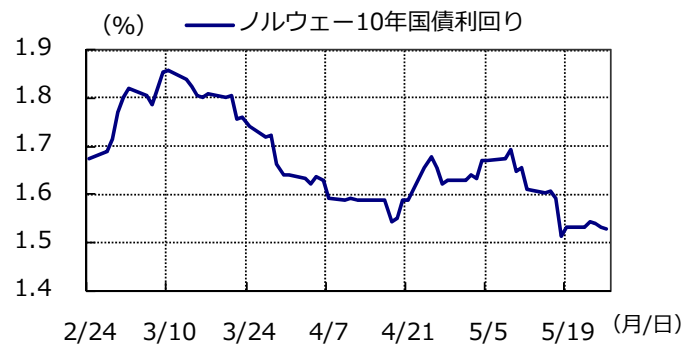
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

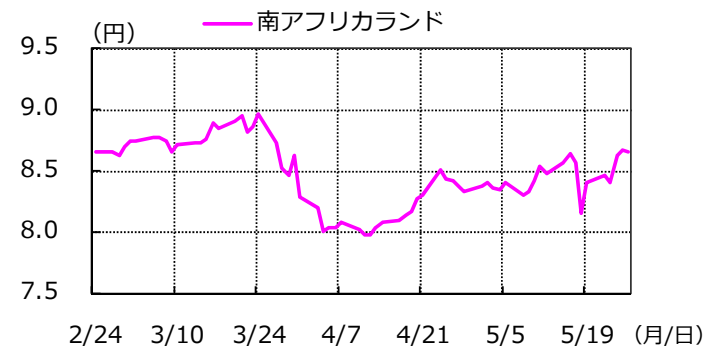
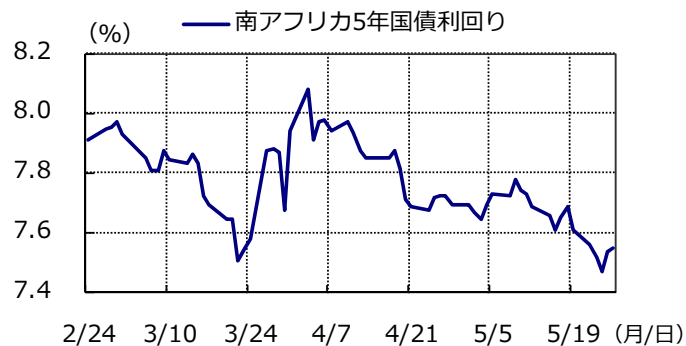


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

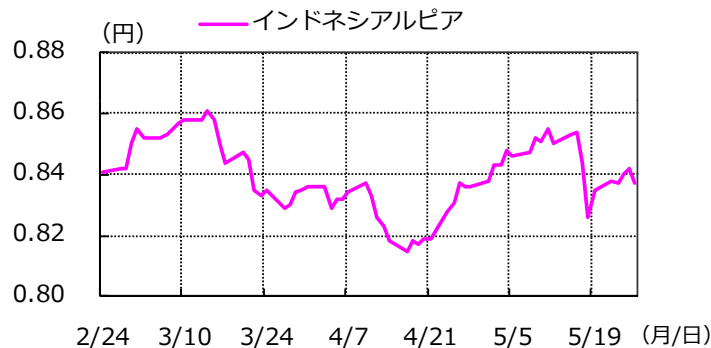
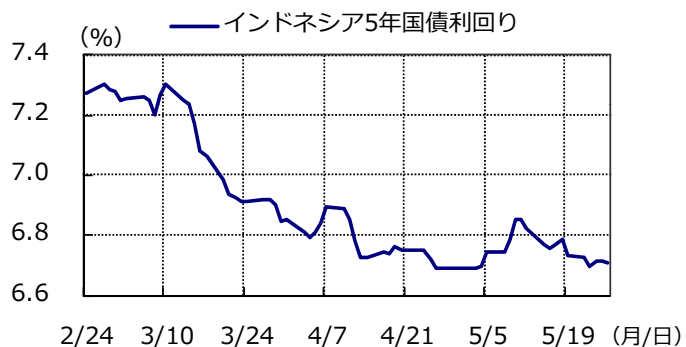
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/2/24～2017/5/26

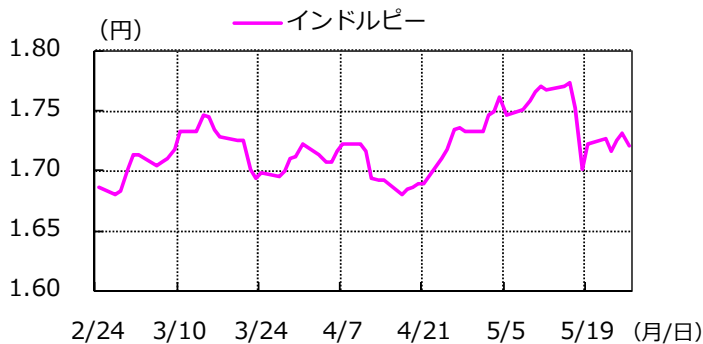
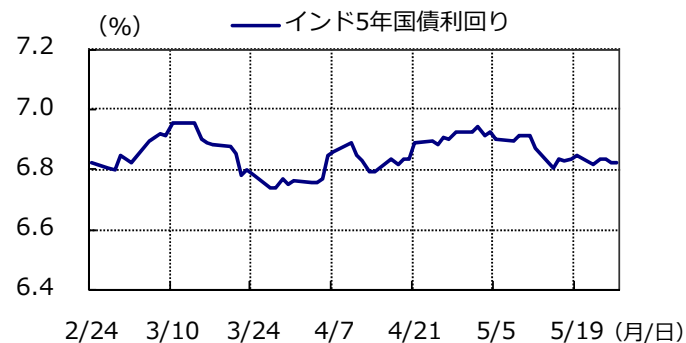
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。



# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限4.104%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。